

令和8年6月15日(月) 第32回 通算第1765回例会

・ 例会日/月曜日12:30 ・ 例会場/エフズ サンパレス ☎ (024) 523-3899

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第32回例会 点鐘12:30

◇ 開会点鐘 宮崎 秀剛会長

◇ ロータリーソング「我らの生業」

ソングリーダー

西形 健吉会員



◇ 「四つのテスト」唱和

大内 重人会員



◇ 会長あいさつ 宮崎 秀剛会長

皆さま、こんにちは。今朝のサッカーワールドカップ、日本対オランダ戦をご覧になった方も多かったのではないかと思います。結果は2対2のドローでしたが、後半44分に追いついての引き分けということで、非常に価値のある試合だったのではないかと感じております。さて、私の会長年度の挨拶も、本日、そして29日の夜間例会を残すのみとなりました。本日のプログラムは、前回に引き続き「委員会年間活動報告」として、公共イメージ委員会、国際奉仕小委員会の各委員長よりご報告をいただきます。また、1年間を振り返っての幹事スピーチ、会長スピーチとなります。皆さま、この一年はいかがでしたでしょうか。私は、「まずは例会に参加してみよう」「顔を出してみよう」——その気持ちだけで十分だと思っています。例会でクラブメンバーの皆さまとお会いするだけで、自然と心が和みます。仲間と語り合い、近況を交わし、「楽しかった」「来てよかった」と感じられる。そうした時間の積み重ねによって、クラブには温かさが生まれ、居心地の良い“居場所”としての空気が育っていくのだと実感しております。後ほど改めてお話しさせていただく時間がございますので、この場での会長挨拶は簡潔にさせていただきます。それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

◇ 幹事報告

佐藤 卓立幹事

・19日(金)県北第一分区新旧合同会長幹事会が開催されます。当クラブより、宮崎秀剛会長、寺島英樹会長エレクト、佐藤卓立幹事、宍戸順一次年度幹事が出席いたします。

・20日(土)麻薬撲滅キャンペーンに当クラブ14名にて参加いたします。開会式では、福島西RCより3万円の基金贈呈も行います。集合は13:00福島駅東口駅前広場となります。本日お渡ししましたポロシャツをご着用のうえ、ご集合くださいますようお願いいたします。

・6月ロータリーレートは1ドル159円となりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇ 公共イメージ委員会

「ロータリーの友」6月号紹介

朝倉 久仁男委員長



◇ スマイリングBOX小委員会報告

久米 允彦会員

○宮崎秀剛会長:本日は会長スピーチ、宜しく願いいたします。

○佐藤卓立幹事:本日は宜しくお願いいたします。



———会長・幹事スピーチによせて———
朝倉久仁男会員/大内重人会員/大平謹一郎会員/黒澤信之会員/久米允彦会員/佐久間政文会員/佐藤宗弘会員/佐藤慶行会員/宍戸順一会員/高梨哲男会員/高橋智弘会員/西形健吉会員/野尻榮一会員

本日のスマイリングに
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇ 本日のプログラム 会長・幹事スピーチ

○ 幹事スピーチ

佐藤 卓立幹事



宮崎会長年度の幹事を仰せつかり、残すところ今週末の薬物乱用防止キャンペーンへの参加と6月29日の新旧役員歓送迎夜間例会を残すのみとなりました。この一年間、宮崎会長をはじめ理事・役員・会員の皆様、そして事務局の小沢さんには多くのご協力とアドバイスをいただき、何とか幹事としての務めを果たすことが出来そうです。心より感謝申し上げます。今回3度目の幹事ということもあり、5年前の経験を頼りに進めてまいりました。しかし、その慣れから緊張感に欠け、準備不足の面もあったのではないかと反省しております。会長や会員の皆様にはご心配をおかけしたこともあったかと思いますが、温かく支えていただき本当にありがとうございました。振り返りますと今年度から例会場をエルティからこちらのエフズ・サンパレスへ移し、当初は会場の勝手の違いに戸惑うこともありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に例会運営をおこなうことができました。また、7月28日泉田ガバナー公式訪問、8月3日の佛母寺での早朝坐禅例会、11月8日・9日の第28回福島西RCクラブ少年野球大会、1月26日の創立記念夜間例会での会員出席率100%達成、そして2月28日に当クラブがホストを務めた県北第一分区IMなど、多くの行事やセミナーが思い出されます。これらの事業を無事に終える事ができたのも、理事・役員・会員の皆様と事務局の小沢さん、そしてエフズ・サンパレスの皆様のお力添えがあったからこそです。改めて深く感謝申し上げます。近年は会員減少に伴う会費収入の減少などにより、様々な事業の規模縮小や、役職・役割が特定の会員に集中する傾向が見られます。しかし、ロータリー活動の魅力は実際に役職を経験してこそ分かる部分も多くあります。会長・幹事をまだ経験されていない会員の皆様には、是非一度チャレンジしていただきたいと思います。一年間は大変ではありますが、それ以上に得られるものも大きいと感じています。ちなみに、私は1年後に2回目の会長職を予定しておりますので、幹事は今回で最後にしたいと思っております。クラブの将来の為、皆様の自薦・他薦をよろしくお願い致します。次年度は寺島英樹会長のもと、新たな体制がスタートいたします。幹事は穴戸順一さんです。入会3年目で幹事という大役を引き受けていただきました。その若さと情熱、そして新しい発想で、今年度以上に活気あるクラブ運営をされますことを期待し、心からエールを送りたいと思います。結びに、この一年間ご支援、ご協力をいただきましたすべての皆様に改めて感謝申し上げます。

○ 会長スピーチ

宮崎 秀剛会長



2025-26年度は、スローガン「基本に忠実 変化に対応」を掲げ、クラブの歴史と伝統を尊重しつつ、時代に即した運営を目指してまいりました。年度当初には例会場を「エフズサンパレス」へ移転するという大きな転換がありましたが、会員の皆さまのご理解とご協力により、スムーズに移行することができました。武川さんをはじめ、エフズサンパレスのスタッフの皆さまに、改めて感謝申し上げます。また、幹事をお引き受けいただいた佐藤卓立さんには、心より御礼申し上げます。平成14年、私が29歳で福島青年会議所に入会した際、最初の委員会でお世話になったのが卓立さんでした。あれから24年が経ちます。福島西ロータリークラブ入会後も温かく迎えてくださり、分からないことは的確に助言していただきました。残り2週間となりましたが、ここまで務めることができたのは、幹事のお力添えがあってこそです。ここで、少し本音を申し上げます。実は、会長をお引き受けする前、何度も辞退しようと考えていました。当クラブはパスト会長が多く、いつかは自分にも順番が来るだろうとは思っていましたが、入会2年目で幹事を仰せつかった直後に、2025-26年度の会長就任の話をいただきました。「せめて幹事を終えてから考えさせてほしい」とお願いしましたが、結果として押し切られる形となり、正直に申し上げると、この時が初めて退会を考えた瞬間でした。入会2年目は副幹事でした。幹事の前の年は副幹事だと言われ、お引き受けしました。何も分からない中で、3年目に幹事として、理事会に初めて出席することになりましたが、再来年の会長、つまり会長ノミニーはクラブの副会長だ、副会長は奉仕プロジェクト委員長だ、つまり、クラブ幹事と副会長兼任だ、というのは全く聞いておりませんでした。まるで“だまし討ち”のように感じたのも事実です。2530地区全体を見ても、入会3年以内の退会が多いという現状があります。地区会員数は2,302名、過去3年間の入会者数は771名である一方、退会者数は874名。結果として103名の減少となっています。所属クラブによって事情は異なるものの、「押し付けられている」と感じてしまう場面があるのかもしれない。ロータリーが人生のすべてではありませんし、多くの方にとっては、まだそこまでの存在になっていないのだと思います。魅力が十分に伝わらないまま退会に至る・・・それが現実なのではないでしょうか。私自身、平日は朝6時30分に出社し、9時からお客様との面談が始まります。土日・祝日も来客があるため営業日です。家庭では、妻と3人の子供がおり、現在高校3年生の息子は週4日塾があり、夜の送迎も続けています。このような生活の中で、仕事・家庭・ロータリーのどれを優先すべきか。どうしてもロータリーは3番目になってしまいます。このバランスに悩む方は、私だけではないはずです。そんな中、会長をお引き受けする覚悟がついた、ある一言がありました。久米さんの「所詮ロータリーなんて道楽なんだから。楽しいからやっているんだよ。」という言葉です。この一言で肩の力がすっと抜けました。義務感ではなく、楽しいからやっている。それで良いのだと心から思えました。そして、「仕事や家庭があるからロータリーができない」のでも、「ロータリーのために仕事や家庭を犠牲にする」のでもない。引き受けた以上は投げ出さず、最後までやり遂げよう——そう強く決意いたしました。今年度、会長を引き受けて良かったか。はつきり申し上げます。良かったです。県北第一分区7クラブの会長・幹事の皆さまが本当に素晴らしい方々ばかりで、この年度に会長を務めることができたのは、大きな幸運であったと感じています。また、相良ガバナー補佐、三宅分区幹事、入会のきっかけをくださった黒澤さん、寺島エレクト、宗弘さん、そしてクラブの皆さまにも、多くのご支援をいただきました。さらに、武二さんからは「宮崎さんが会長の時に退会となって申し訳ない。何かあれば連絡ください。応援しています。」と温かいお電話を頂戴しました。そのお気持ちに触れ、改めて当クラブのメンバーは本当に心の温かい方々ばかりだと実感いたしました。ただし、私のような思いをする人は、これで最後にしましょう。誰かに押し付けるのではなく、皆で考え、皆で支え合うクラブでありたいと思います。福島西ロータリークラブは、本当に居心地の良いクラブです。だからこそ、本音で話し合い、次のステップへ進んでいきましょう。鍵は、やはり会員増強です。私自身も、会長職があったため就任を待っていただいていた別団体の役職が、これからスタートします。次の一步を踏み出しながら、前へ進んでまいります。一年間、本当にありがとうございました。